

# 地域創生に愚直に取り組む

～但馬信用金庫の取り組み～



**但馬信用金庫**

Welcome to **TAJIMA SHINKIN BANK**

地域の皆さまに愛され、信頼される金融機関 — 街のふれあいステーション

# 営業エリアの概要 (データはすべて2018年3月末時点)



預金残高、貸出金残高、店舗数、役職員数(パート含む)

4,406億円、1,743億円、29店舗、375名

兵庫県北部  
但馬(たじま)地区  
(豊岡市・養父市・朝来市  
香美町・新温泉町)  
人口 163,756人  
店舗数 24店舗

但馬の3市2町いずれに対しても、  
当庫は指定金融機関ではありません

姫路市  
人口 531,526人  
店舗数 3店舗



京都府北部  
(京丹後市・福知山市)  
人口 134,114人  
店舗数 2店舗

# 営業エリアの比較



	但馬地方	十勝総合振興局	釧路総合振興局	根室振興局
面積(平方km)	2,133	10,831	5,997	3,496
人口(千人)	165	337	227	73

	豊岡市	帯広市	釧路市	根室市
面積(平方km)	697	618	1,363	512
人口(千人)	79	169	174	26

# 豊富な地域資源

: 金融機関として、消費者・住民として  
広く・深く知る。強みと課題も把握する



但馬牛：神戸ビーフの素牛



豊岡の鞆産業：鞆出荷額 国内1位  
(経済産業省調べ)



湯村(ゆむら)温泉と料理長



出石(いずい)そば



城崎(きのさき)温泉

地域金融機関が限られた経営資源の中で、個別企業の支援に加え、面的な地域プロジェクト支援にも取り組むには、特にどの業種に注力するかを予め検討する必要がある。当庫は「基盤産業」にフォーカス

# 当庫が考える地域プロジェクト支援のポイント



一つのプロジェクトのみで地域の活性化は実現できない。  
⇒同一地域で複数のプロジェクトを展開し、活性化につなげる。

プロジェクト間のシナジー効果発揮にこだわる。  
⇒まずは一つのコアとなる地域プロジェクトを生み出す。

どの地域にも優れた地域資源はある。しかし、それだけでは他地域と差別化できない。その地域がどういう特性を持ち、外部からどのように見られているかをよく理解する。  
⇒そのために、地域内部と地域外部の人の連携が重要。

地域プロジェクト支援は参加者(巻き込まれる側)目線だけでは十分に行えない。  
⇒マインドと行動の両面で「仕掛ける側」にまわることが重要。

# 当庫が考える地域プロジェクト支援のポイント



地域プロジェクトの推進には、地域内と地域外のプロデューサーの連携が必須。  
地域金融機関は地域内プロデューサーを目指すべき。  
地域外プロデューサーは案件や関わる人たちとの相性があるので、特定の人・組織に固執せず、都度、最適な相手を選定。  
⇒地域外プロデューサーがいないと井の中の蛙になりがち。  
⇒地域内プロデューサーがいないと利害関係者間の調整が難航する。

地域プロジェクトには多様な利害関係者が参画する。よって、意思決定に時間がかかる。途中で立ち消えになるものも多く、スケジュールが立てにくい。  
⇒これを前提に「気の長い取組み」を実施する。

担当者のモチベーションが全て。「やる気」を「使命感」にまで昇華できるかどうか。  
⇒まずは一つの小さな成功体験を生み出す。

# 但馬の小京都 出石(いずし)



関西を中心に知名度があり、  
年間80万人程度の観光客が来訪



# 但馬の小京都 出石(いずし)



出石(いずし)そば



カード決済端末機を導入している店がほとんど無く、  
土日のお昼の繁忙時に出入り口付近のレジが  
混雑することで機会損失が発生

メニューに広がり無く、客単価をあげにくい

町なかを周遊する仕組みが弱く、平均滞在時間も1時間程度

(株)クレディセゾンと連携し、  
出石皿そば協同組合の組合員  
等にカード決済端末機の導入  
提案。30軒程度導入

# 出石そば 新メニュー開発支援



## <現状>

出石そばのウリ=三たて  
(挽きたて・打ちたて・ゆがきたて)



## <課題>

おいしいが、  
日持ちせず、  
ロスになり  
やすい



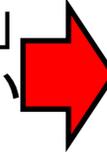
## <対応の方向性>

- ①日持ちする
- ②地元食材を活用
- ③食文化として定着  
(地元の味噌・しょうゆ・  
漬物・ノリなど)

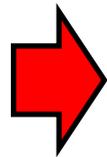
そば粉  
北海道産・九州産多数



「当地ならではの」  
をウリにしにくい  
(器は出石焼)



食文化としての定着度  
地元民は頻繁には  
食べていない



食文化として  
十分には定着  
していない



を満たす  
新メニューを検討

# 出石に縁ある人物：沢庵和尚からの着想



# 料理人とのコラボレーション



## 発酵王子 伏木 暢顕(ふしき のぶあき)氏とのコラボ



1975年 東京都生まれ

醸造料理人であり、日本の発酵食文化传承人

著書・メディア出演多数

最近、NHKのEテレで藤原紀香さんとも共演

地元食材を活用した新しいサイドメニュー  
(発酵料理の小皿メニュー)開発により  
出石そばの魅力・そば屋の魅力を  
一層強化できるのではないか？



お披露目  
2018年10月22日



12



© 2018年 但馬信用金庫 all rights reserved

# 国内最大の産地 豊岡の鞆産業支援



国内最大の鞆の産地として、業界をあげて積極的な活動を行なっている。

豊岡の鞆産業:鞆出荷額 国内1位  
(経済産業省調べ)



更なる飛躍のため、今治タオル(豊岡鞆と同時期に「地域団体商標」登録。佐藤可士和氏のディレクションもあり、現在、今治タオルの市場認知度は8割を超えている)をベンチマークとし、当庫がコーディネートする形で、一昨年春に鞆協会・市役所と合同で今治視察を実施。

視察にあたっては、愛媛信用金庫様にもご尽力いただいた。一昨年秋には、今治タオル工業組合理事長らを当地に招き、勉強会を開催。

当庫ではアパレルに精通した専担者を採用し、鞆各社の販路開拓や商品開発、輸出等について支援を実施。

# 出発点としての宵田商店街活性化支援



2005年 当庫本店前の宵田商店街が「カバンストリート」として活動開始

当時、全国でも商店街活性化と地場産業振興の両方を狙った事業は珍しかった

2009年「新・がんばる商店街」認定

## 地元の特産品である「かばん」をアイテムとした商店街活性化!!

### ！ここがポイント

商店街を「カバンストリート」と位置づけ、ギャラリー「カバンステーション」を拠点にかばん産地豊岡の情報発信を行っている。



宵田商店街「カバンストリート」

### 【取り組みの概要・経過】

地元の新産業と協力し、平成17年、商店街を「カバンストリート」として位置づけた。アーケードに「カバンストリート」の看板を設置するなど、積極的にPRしている。

同年、ギャラリー「カバンステーション」を商店街振興組合の運営でオープンした。これは、商店街の若手が中心となって検討を重ねたものである。このギャラリーを情報発信元として、かばんのPRが行われている。

ここでは、誕生日別の365種類のトートバッグ（「365パスデートート」）、近郊に結婚温泉があることにちなんで旅行鞆とコラボレートして制作した「湯めぐりバッグ」といったユニークなオリジナル商品の販売も行っている。また、かばんの展覧会などのイベントも行われている。

また、商店街の既存の商店の一角を利用して、その商店の取り扱っている商品や雰囲気マッチしたかばんを展示し、販売も行っている。

そのほか、自動販売機でオリジナルのかばんを販売するなど、他に例を見ない活動も行っている。

### 【取り組みの背景】

宵田商店街は、かつては多くの商店でにぎわっていた商店街であるが、近年、モータリゼーションの進展や近郊の大型小売店との競合などにより、活気がなくなっていた。

このような中で、現在、豊岡の特産品である「かばん」に着目しての取り組みが行われている。

この取り組みは、有数のかばん産地でありながら、全国的にはあまり知名度のない「かばん産地豊岡」を商店街がPRすることにより、観光客を商店街に誘導し、活性化へつなげたいという思いから始まった。

# カバンストリート(宵田商店街)活性化支援



2014年アルチザンアベニューオープン後、カバンストリートの活動も活性化(鞆・アパレルの新規出店が5店舗、第2創業が1店舗)



# 地域プロジェクト支援本格参入のきっかけ



## ■豊岡市中心市街地活性化基本計画策定委員会↓

↓

市では、平成22年7月12日、中心市街地を構成する商業者や地権者、市民、民間企業などの関係者で「豊岡市中心市街地活性化基本計画策定委員会」を設置しました。↓

全11回に及ぶ意見交換などを踏まえ、計画の素案について、市へ報告いただき、このほど市として計画を策定しました。↓

豊岡駅通りを中心とした市街地は、人口減少と高齢化の進展、商店街の機能低下により、少しずつにぎわいが失われてきており、市街地の空洞化が進行しています。↓

また、市街地において、健康増進施設や駅前広場整備、新庁舎建設事業をどう結び付け、今後のまちづくりを行うのかも重要な課題となっています。↓

そこで、高齢者を含めた多くの方が暮らしやすく、まちの個性や歴史、伝統を生きながら「歩いて暮らせるまちづくり」に向け、中心市街地のビジョンとプログラムを共有し、活性化計画の策定に取り組みました。↓

# 豊岡市 中心市街地エリア



← 1km 程度 →

# 中心市街地基本計画 骨子



## ▽中心市街地活性化のメインテーマ↓

「**「豊岡」の真ん中で営み続ける ～豊岡を実感する～**」

↓

## ▽基本方針・目標↓

- 1) 住まう(目標:まちの定住人口の確保)
- 2) 集う(目標:まちに来る人を増やす)↓
- 3) 商う(目標:まちにお金が落ちる)

↓

## ○策定委員会の計画素案を市長へ報告↓

▽日時：平成23年7月12日(火)午後4時30分～午後5時00分↓

▽会場：市長室↓

▽内容：策定委員会がまとめた計画素案について、市長へ報告↓

↓

↓

↓

↓



# 中心市街地の起爆剤の一つ 鞆新拠点

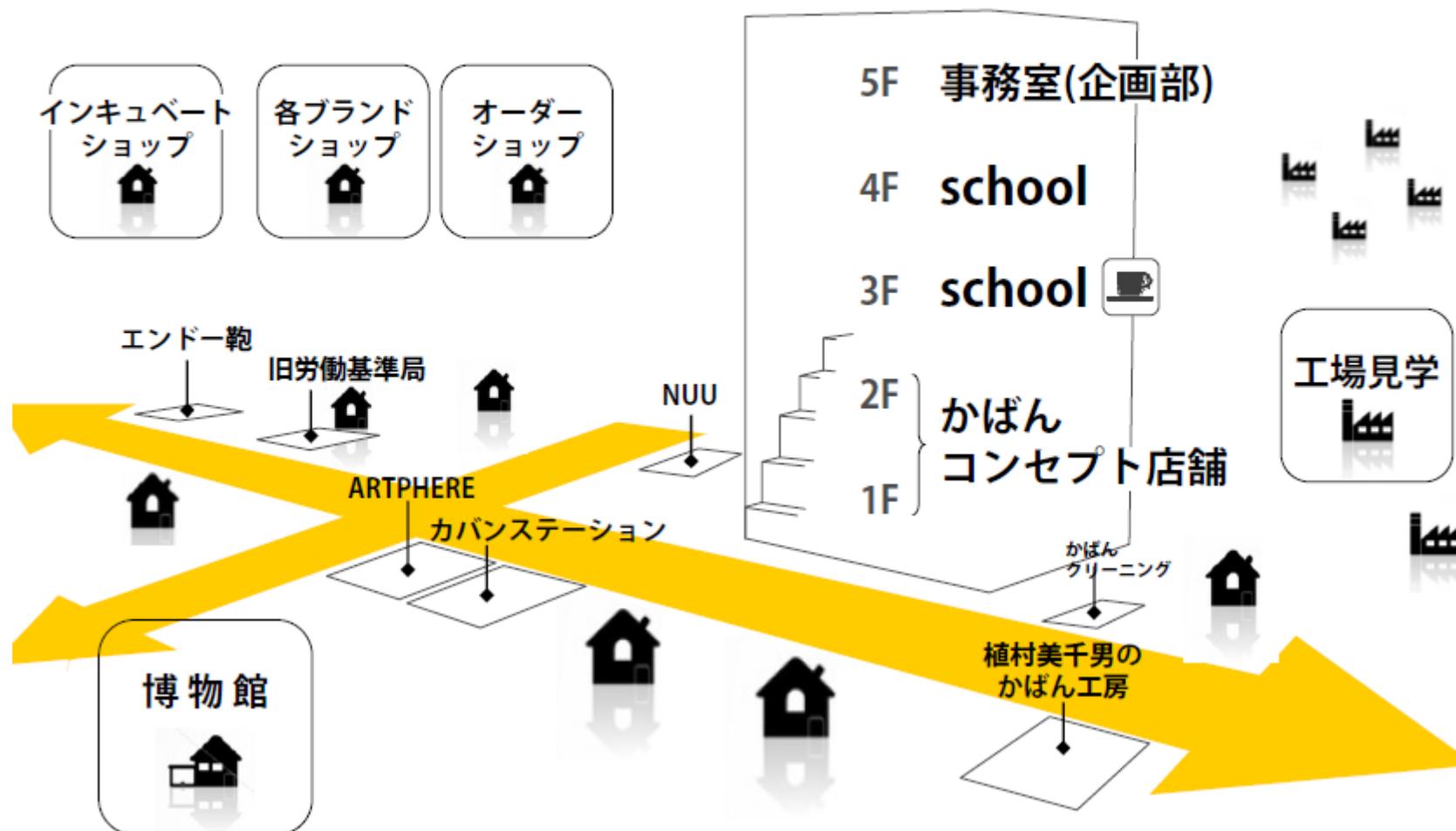


## 「かばん新拠点」のイメージ

**KABAN Flagship Shop**



**TOYOOKA  
SCHOOL OF KABAN MAESTRO**



# 新拠点トヨタカ カバン アルチザンアベニュー



2014年4月オープン



# GOOD DESIGN AWARD | グッドデザイン賞

受賞対象名	かばんを核とするまちづくり [トヨオカ カバン アルチザン アベニュー]
事業主体名	豊岡まちづくり株式会社
分類	都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり
受賞企業	豊岡まちづくり株式会社 (兵庫県)
受賞番号	14G141208
受賞概要	2014年度グッドデザイン賞受賞概要

**受賞対象の概要** ※掲載している情報は、受賞当時の情報のため、現在は異なる場合があります。

**概要** 国産鞆の最大の生産地である兵庫県豊岡市に新設された販売と教育を軸にした鞆の拠点施設を中心とした地域活性化プロジェクト。歴史豊かな地場産業である鞆を様々な側面において、いかに地域の魅力的な地域資源へと具現化し情報発信するかが重要である。本事業においては企画から3年にわたり鞆企業や行政、地元商店街、周辺観光地と密接に連携しながら産地ならではの手法で情報発信、空間整備、人材育成、商品開発を同時に考え拠点施設を中心にまちづくりデザインに展開しようとしている。

**プロデューサー** 豊岡まちづくり株式会社 マネージャー 林健太

**ディレクター** 株式会社LEM空間工房 代表取締役 長町志穂

**デザイナー** <建築デザイン>レイジ・ヴェラーティ+長町志穂<鞆デザイン>森田陽子+株式会社 由利+エンドー鞆 株式会社+株式会社  
ウノフク +松下ラゲッジ 株式会社



# カバンストリート(宵田商店街)活性化支援



2016年からは、兵庫県・豊岡市も交えた、“まちなか再生協議会”も立ち上げ、活動中

記者発表 (発表→資料配布)				
月/日 (曜日)	担当課 (班)	TEL (内線)	発表者 (担当班長)	その他 配布先
6/20 (火)	県土整備部まちづくり局 都市計画課	078-362-9296 内線4666	都市計画課長 佐々木 貴弘 (谷川 順彦)	但馬県民局
	産業労働部産業振興局 経営商業課	078-362-3326 内線3563	経営商業課長 大久保 和代 (三宅 堂之)	

豊岡市宵田・元町地域における「宵田・元町地域まちなか再生計画」の策定について  
(「商店街の活性化とまちの再整備による賑わいのまちづくり事業」)

県が市町と連携して平成27年度から実施している「商店街の活性化とまちの再整備による賑わいのまちづくり事業(略称:商店街の活性化とまちの再整備事業)」のモデル地域に指定した宵田・元町地域にて、地元商店街が主体となり、平成28年7月7日に「まちなか再生協議会」(以下「協議会」という。)が設立されました。

## 2 宵田・元町地域まちなか再生計画の概要(案)

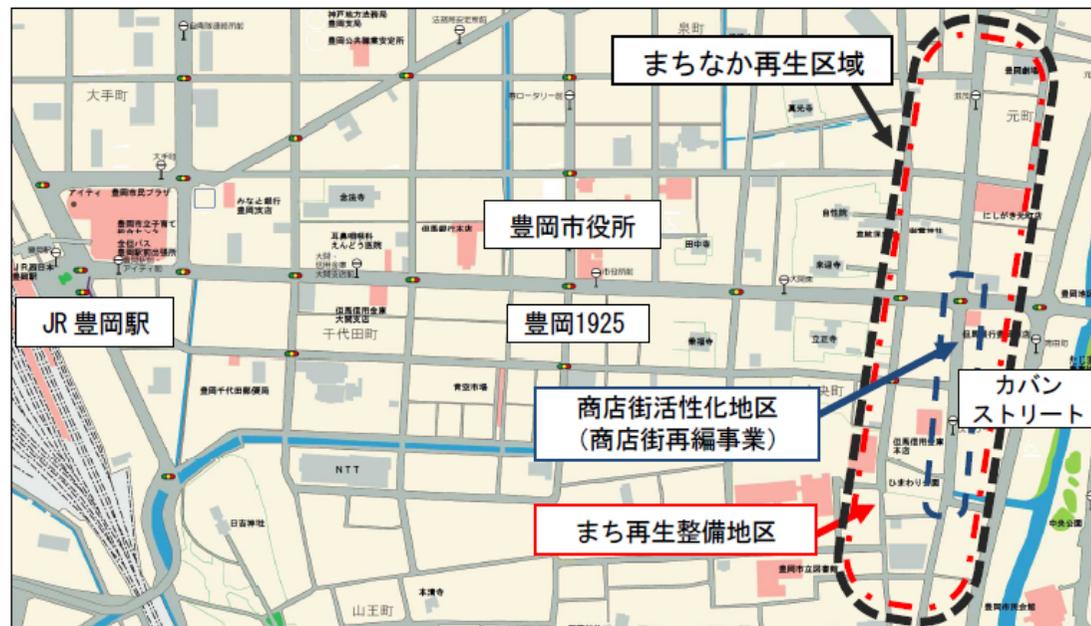
(1) 作成主体: 宵田・元町地域まちなか再生協議会 (H28. 7. 7 設立)

- ・会長: 衣川克典 (宵田商店街振興組合 理事長)
- ・会員: 宵田商店街振興組合員、但馬信用金庫本店役員 他
- ・オブザーバー: 一般社団法人ノオト
- ・アドバイザー: (株)レム空間工房 代表取締役 長町志穂  
(有)スタジオ・カタリスト 代表取締役 松原永季

# カバンストリート(宵田商店街)活性化支援



## ■計画エリア



## ■整備イメージ 【現況】



## 地方創生に貢献 内閣府など、但馬信用金庫を表彰

2018.02.26

ツイート おすすめ 0 シェア 印刷



表彰を受ける但馬信用金庫の森垣裕孝理事長（右）＝大阪市中央区大手前4

内閣府などは26日、近畿財務局管内の「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として但馬信用金庫（豊岡市）など関西の3金融機関を表彰した。

地方創生の事例を紹介することで活動をより広めようと、政府が実施しており、今年で2回目。全国で55組が表彰された。

但馬信金は、豊岡かばんのブランド力向上や販路開拓を支援。都市部の優れた人材を生かす内閣府の「プロフェッショナル人材事業」を使い、活性化のため大手アパレル出身

者を採用したことなどが評価された。

同信金の森垣裕孝理事長（65）は「かばん業界とは取引が多く、隅々まで熟知している。他業態からの斬新な目線でアプローチし、ブランド化を進めていきたい」と話した。

ほかに大阪信用金庫（大阪市）と大阪シティ信用金庫（同）が表彰された。（綱嶋葉名）

## 19. 「プロフェッショナル人材事業を活用した豊岡の靴業界のブランド力向上および販路開拓等の支援事業」 (但馬信用金庫)

### 1. 取組の概要

- プロフェッショナル人材事業を活用し、アパレル業界の大手企業にてブランド事業戦略の立案や店舗運営などに携わっていた人材を当金庫職員として採用。当該職員を中心に、豊岡の基盤産業である靴業界のブランド力向上及び販路開拓等を積極的に支援。

### 2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- 豊岡市等が実施している「トヨタカ カバン アルチザンアベニュー事業」は、豊岡靴業界のブランド化等を推進し、大きな成果を出している。当該事業の中心人物が退職することになり、当金庫の提案でその後任者をプロフェッショナル人材事業を活用して募集したところ、全国から100人を超える応募があったが、条件面や採用専任者がいなかったため適時適切なフォローができず、採用に至らなかった。このため、「トヨタカ カバン アルチザンアベニュー事業」の推進力の低下が当地の靴業界へ与える影響を勘案し、平成29年6月、当金庫自らがプロフェッショナル人材事業を活用して豊岡の靴業界をリードする人材を1名採用。

### 3. 具体的な取組内容

- 新たに採用したアパレル業界に精通した職員を中心に、取引先に関わらず豊岡の靴産業への支援として、当金庫が、靴業界の強み・課題等を把握・分析、ブランド力向上・販路開拓・新商品開発に資する勉強会やビジネスマッチング等の各種事業に取り組むとともに、必要に応じた資金面での支援も検討。
- 今後、市と連携した靴業界の活性化策や他の地域金融機関と連携した販路開拓支援を検討。
- ひょうご専門人材相談センターと連携し、靴業界の従業員向けにマーケティングの勉強会を開催予定(厚生労働省の事業を活用)。

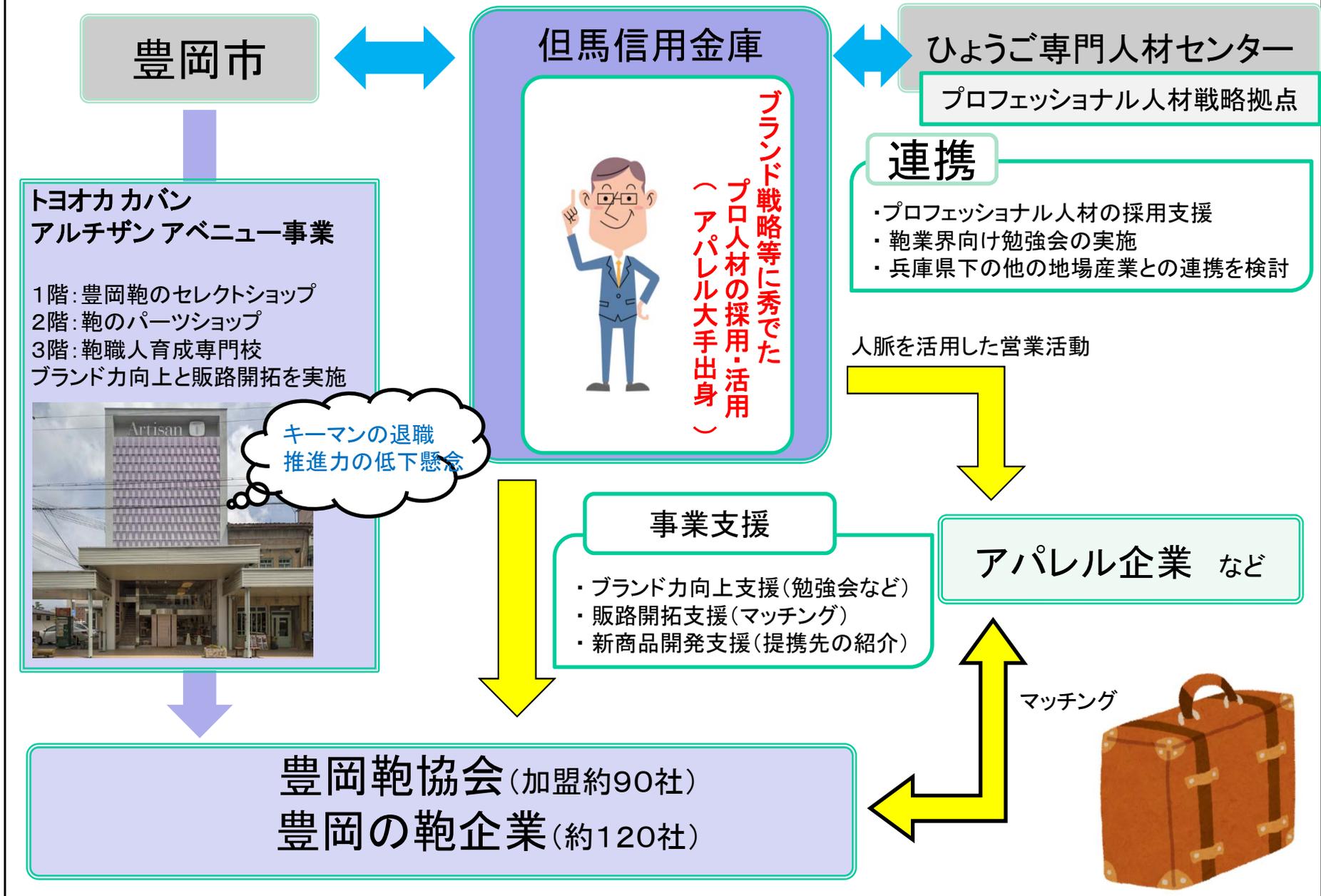
### 4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- 当該職員の採用にあたり、プロフェッショナル人材戦略拠点のマネージャーがアパレル業界に精通していたこともあり、どのような人材を採用し、どのような活動に従事させるべきか、密な意見交換を行なった。
- 事業の企画立案にあたっては、豊岡市の靴業界の団体・企業のほか、各地のアパレル会社とも意見交換を行い、川上から川下に至るまで業界の現状や課題、ニーズなどを具体的に把握した。

### 5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- 平成29年6月下旬に、当該職員が中心となり靴組合の経営研究会にて各社が取り組むべきブランディングのあり方について講義。その中で、学生の視点・アイデアを取り入れた新商品開発に関心を示したメーカー1社にファッション関連イベント等を主催する学生団体を紹介。両者が具体的な商品開発に着手。現在、サンプルを完成させ、東京等で開催する1,000人規模のファッションショーに出品が決定。
- 当該職員の前職の人脈を活かし、東京や大阪の複数のアパレル会社に営業し、靴のOEM発注ニーズを発掘。豊岡のメーカーに紹介し、豊岡のメーカー5社が商談成立。他にも数社が商談中。

6. スキーム図等(図表・写真等も必要に応じて貼付)



# きっかけとなった戦略マネージャー



戦略マネージャー

## 亀井 芳郎（中小企業診断士）

＜皆様へ一言メッセージ＞

コンサルタント、中小企業診断士として中小企業の経営改善を支援する立場にあります。その経験で一つの大きな課題を感じていました。

それは、戦略策定・課題解決のためのアクションプラン策定後の実行に問題があり、計画が進まないことです。この原因は専門人材が不足している事です。

この人材問題解決のお手伝いをするのが「ひょうご専門人材相談センター」の役目ですので、中小企業の経営者の皆様のご相談をお待ちしています。

1976年	同志社大学卒業後、服飾品の専門商社に勤務し海外ブランドの展開を通して、ブランド開発・育成に取り組み、営業部長、営業企画部長、企画開発部長を歴任。
1999年	中堅小売会社に入社し、紳士服業界の先駆けとなったツープライスストア「The@SuperSuitsStore」を立ち上げ、多店舗化を行い、第二創業を実現。
2002年	低迷期に社長に就任。就任後は事業再生に取り組み、V字回復を達成。
2005年	目標であったIPO（大阪証券取引所ヘラクレス）を実現する。
2006年	社長を退任し、経営コンサルタントとして独立。

# 湯村温泉のプロジェクト支援



湯村(ゆむら)温泉と料理長



湯村温泉は需要量に比べて湧出量が豊富で、泉質も優れた県北西部の温泉地。現在、10数軒の旅館が営業しており、年間約23万人が来訪

当庫は信金中央金庫のバックアップを得て、2014年7月から毎年、他地域の信用金庫に対し、職員旅行や年金受給者向け旅行の誘客活動を実施。  
これまでに1万7千人を超える誘客成果をあげている。

湯村温泉の中核旅館の井上料理長(現代の名工)の魅力発信に協力すべく、以前、同氏が「料理の鉄人」で対決した四川飯店の陳建一氏を招いたイベントも当庫が開催。昨年5月には陳建一・建太郎親子を招いて開催

# 湯村温泉への誘客支援



新温泉町に16日から、大阪府枚方市から12回に分けて、計約千人の観光客が訪れている。枚方信用金庫（同市）で年金などを利用する「友の会」の会員たちで、同日から約1カ月間、1泊2日で町内の漁師町を散策したり、湯村温泉の旅館に泊まったりして、新温泉町の魅力を満喫する。

湯村温泉の観光協会や旅館料飲組合、但馬や鳥取の信用金庫でつくる湯村温泉会議が、全国各地の信用金庫を通し、友の会会員の来訪を呼び掛けている。

16日にはバス2台計57人が訪れ、同町内の飲食店で昼食。同町の浜坂地区を流れる味原川沿いに整備

**新温泉の魅力 満喫して**  
枚方から12回に分け1000人観光

地域の特徴について説明を聞きながら歩く、枚方市からの観光客ら＝新温泉町浜坂

2018.4.17 神戸新聞

案内などにも取り組む「味原川清流会」の岡部長一會長らのガイドを聞いた。同川を境に、畑などの多い砂地と、水田が並ぶ泥地に分かれているといった説明を聞くと、参加者たちは感心したようにうなずいていた。

一行はこのほか、同町の浜坂先人記念館「以命亭」を見学したり、まち歩き案内所「松籟庵」で、蓄音機による音楽鑑賞などを楽しんだりした。17日には、香美町の展望施設「空の駅」や鳥取市の鳥取砂丘などを訪れるという。

（小日向務）

神戸新聞  
2018年4月17日

# 湯村温泉への誘客支援





# 町内初の「道の駅」開設支援

町からの委託を受け、  
信金中央金庫の  
バックアップの下、  
町内で初めて開設  
される道の駅のソフト  
事業を実施。  
(地域振興プラン策定や  
町内の旅館や飲食店で  
提供する新たな名物メ  
ニューの開発など)

**道の駅 および 特産品開発を通じた地域振興事業について**

但馬信用金庫 事業支援部  
地域創生課 課長 川上晃弘

## 道の駅 および 特産品開発を通じた地域振興事業について

「全国の道の駅の3分の2は赤字である」とこの言葉は、それぞれの道の駅の事情はあるものの、経営が非常に難しいことを表している。一方で「道の駅ブーム」は続いており、その数は全国で1100を超える。兵庫県美方郡新温泉町では高規格道路の延伸をきっかけに、町内で初めて道の駅がオープンすることになった。本稿では、当金庫が町町より地方創生加速化交付金事業の一部を委託し、自治体と二人三脚で地域創生を進めてきた「平成28年度 道の駅および特産品による地域振興事業」の取り組みについて紹介する。

### ① 新温泉町の現状

新温泉町は、兵庫県北西部に位置し、西は鳥取県、北は日本海に面する人口約1万5千人の町である。地方創生をスピーディーに推進するため、地域創生課を設置している。今回の事業委託にあたっては、その実績および体制が見込まれたものであると考える。

以下に、受託した道の駅に関する3つの事業を解説する。

### ② 新しいレイト・モノの流れによる地域振興プラン策定事業

新温泉町が建設する道の駅は、浜坂IC周辺の交通量の動向に大きな影響を受ける。そこで、新しいレイト・モノの流れによる地域振興プラン策定事業では、山陰近畿自動車道延伸、全線開通等のフェーズに分け、町内の交通体系の変化を予測した。その手法は、以下①②③の通り。なお、本事業に関しては信金中央金庫と業務提携を交わし、取り組んでいる。

### ③ 来街者アンケート調査

同町内の観光施設、観光客を対象に実施。観光客のニーズ等を対象に実施。観光客のニーズ等を対象に実施。

### ④ 他地域事例の収集

開業予定の道の駅は、通行料無料の高規格道路のIC付近に位置している。そこで同じような条件の富山県・石川県・広島県・三重県・大分県・宮崎県の道の駅を訪問し、高規格道路開通の影響等の情報を収集した。その結果、経営が厳しい施設

「記」のロケ地として脚光を浴びた情緒ある温泉地だが、時代の流れとともに新たな魅力の創出が課題となっている。一方で、松葉ガニ・但馬牛・ホタルイカ・ハタハタなど、多くの食資源に恵まれた国内有数の地域である。このようなまちには、高規格道路（山陰近畿自動車道・鳥取豊岡宮津自動車道）の延伸、「新温泉浜坂インターチェンジ（以下、浜坂IC）」の設置が決まり、平成29年12月上旬の供用開始に向け建設が進められている。自動車道は、当面一部の開通のみとなっているが、将来的に全線開通となれば京阪神への交通アクセスは格段によくなり、町民や観光客の交通ルートが大きく変化する可能性がある。

さらに、浜坂IC近隣に「道の駅 山陰海岸ジオパーク 浜坂の郷」が本年秋にオープンする予定で、同町はこの変化に地域経済の活性化の可能性を見出すうとしている。合わせて国内有り施設、現在、将来の利用ルートを聞き取った。地域住民および観光客への調査からは、将来的に道の駅周辺の交通量は大きく増加しない可能性があるということが判明した。

冒頭で述べたように、全体の3分の1の道の駅しか利益を出していないと言われている。当地も前述の調査を行った結果、将来的に交通量の大幅な増加は期待できず、むしろ通り抜けになる可能性があるということが判明した。そこで、①②③の道

数の地域資源とのイノベーションを起こすことをめざした地方版総合戦略を策定し、交付金による地域振興事業を進めている。当金庫では、22年頃から湯村温泉に対するコンサルティングや、全国の信用金庫に年金旅行誘致に向けたキャンペーン活動を行っており、約2万人の誘客につなげてきた。また、28年6月

「信用金庫」2017・6

雑誌「信用金庫」

2017年6月号より一部抜粋

品ぞろえ、イベントや屋台、働き方改善…

# 地元産で活性化を

日本海新聞

2018.10.24



道の駅の活性化や近隣の観光施設連携について意見を  
出し合う参加者ら。新温泉町の道の駅「山陰海岸ジオ  
パーク浜坂の郷」

## 新温泉 道の駅発展へ意見交換

異業種連携で食を中心とした地域活性化に取り組む「北近畿地産の会」(田丸明人会長)が新温泉町栃谷の道の駅「山陰海岸ジオパーク浜坂の郷」で例会を開いた。同町ならではの食材を知り、道の駅の発展や地域・企業間連携について意見交換した。(松本妙子)

同会は、京都府北部から鳥取県東部エリアの農林水産産、宿泊観光、飲食などの業界関係者で構成。北近畿や近隣地域の食材・魅力を学び、ネットワークを強めてPRする活動に取り組んでいる。例会には、生産者や事業者の思いを学ぶと会員30人が出席。参加者は、アイガモ農法に取り組み町内の法人

施設や昨年9月にオープンした同道の駅を見学。地元産の十割そばを味わい、町の魅力を五感で感じていた。会員らは、同道の駅の施設を造った町と運

営会社「特産しんおんせん」の関係者と意見を交わした。同社の中村寿弘代表らが施設の現状や課題について説明。参加者は自社や他市町を例に、物販の品

ぞろえ充実と出荷者数の増加を図るアイデア、魅力的な商品づくり、効果的なイベントや屋台販売の方法、働き方改善について活発に意見を交換した。

日本海新聞  
2018年10月24日

# クラウドファンディングを活用した 販路開拓・テストマーケティング支援



## 運用終了 おだかきさん家の八鹿豚ファンド

養父（やぶ）市最後の養豚農家。八鹿豚の増産とブランド化を応援



一口金額	20,000円	募集総額	6,012,000円
事業者名	小田垣護	参加人数	230人
地域	兵庫県 養父市	分野	農業・畜産・林業
募集期間	2016年3月24日～ 2016年6月30日	シリーズ	養父市へのふるさと投資

### 特典

1口につき3,600円相当(税・送料込)の八鹿豚加工品セットを期間中に1回お届けします。

[> 特典の詳細をみる](#)

養父市でかつて数軒あった「八鹿（ようか）豚」の畜産農家も、現在では小田垣家1軒のみとなりました。自分たちの手でこだわりのブランド豚を育てていこうと父母姉弟は決心し、肥育を続けています。2013年には養父市の地域ブランド推奨品「やぶの太鼓判」の一つに選ばれました。本ファンドは、トップブランドをめざす「八鹿豚」生産に取り組む小田垣さんを応援するファンドです。

セキリテ

[ファンド](#)

[ストア](#)

[マイページ](#)

[ニュース](#)

[寄付](#)

## 本ファンド対象事業の魅力

最後の1軒となった八鹿豚の畜産農家「小田垣家」

# 環境に優しい農業を徹底的に実践！ソーラーパネルを設置したい！

成立!!



農事組合法人 アイガモの谷口 代表  
理事 谷口 正友

支援総額	1,302,000円
 目標金額	1,000,000円
支援者数	89人
残り日数	終了しました

購入型

All or Nothing

**プロジェクトが成立しました！**

このプロジェクトは  
2018年3月12日(月)23:00 に成立しました。

農事組合法人アイガモの谷口 企業理念谷口のアイガモ米を年間おいしく保管する為の冷蔵庫の電気を太陽光発電により賄い、兵庫県新温泉町における自然循環農法の完成モデルを目指します。クラウドファンディングによる応援をよろしくお願いいたします。

2018年04月07日

**お待たせいたしました。太陽光発電始まりました。**

皆様のおかげおもちまして、クラウドファンディング達成できましたこと改めまして感謝いたします。

ご報告が遅くなりましたが、4月1日より太陽光発電開始いたしました。比較的電気配線工事も順調に進みまして、発電できることに感謝いたします。



# 兵庫の老舗・醤油蔵の挑戦！手作り醤油を通して伝統を後世に繋ぐ

兵庫県 神戸 ものづくり フード 特産品 伝統文化 歴史



兵庫・老舗醤油蔵の挑戦！  
手作り醤油を通して  
伝統を後世に繋ぐ



浄慶 拓志（大徳醤油四代目）

支援総額

1,672,000円

 目標金額

1,500,000円

支援者数

127人

残り日数

終了しました

購入型

All or Nothing

**プロジェクトが成立しました！**

このプロジェクトは  
2017年7月31日(月)23:00 に成立しました。

明治創業！伝統の醤油づくりを手づくり醤油を通して、伝えていきたい。

はじめまして。兵庫県養父（やぶ）市という中山間地にある小さな醤油蔵、大徳醤油株式会社の4代目浄慶拓志と申します。家業である醤油屋に戻って以来、「昔ながら」の醤油づくりを深く知るようになり、改めてその素晴らしさを感じました。そして、そんな古くから続くものづくりを誇りに思うようになりました。そんな伝統を残し、伝え、続け、発展させなければならないと考えています。

古来から伝わる醤油づくりの伝統や、その良さを多くの方に伝えるために活動を行いたいという思いから、今回プロジェクトを立ち上げました！



## 子どもも大人も楽しめる「雪のゆうえんち」を作りたい！



兵庫県は神鍋(かんなべ)高原、関西で最も老舗のスキー場「アップかんなべスキー場」。ここに子どもも大人も楽しめる「雪のゆうえんち」を作りたい。このプロジェクトに賛同し、盛り上げてくれるサポーターを募集します。

[f シェア](#)
[いいね!](#)
[ツイート](#)
[LINEで送る](#)
[埋め込み](#)
[QRコード](#)

¥ 現在の支援総額

432,000円

86%

目標金額は500,000円

👤 パトロン数

49人

🕒 募集終了まで残り

終了

FUNDED

このプロジェクトは、2018-10-01に募集を開始し、49人の支援により432,000円の資金を集め、2018-10-31に募集を終了しました。

# 専門家と連携したブランディング支援



但馬信用金庫主催 経営戦略セミナー



## 中小企業に 本当に必要な ブランド戦略

無料  
4月28日  
18:00-

— 対象者 —

「頑張ってるけど、結果が出ない」

「やる気はあるのにどうしたらいいのかわからない」という事業者または後継者

みなさんは経営とはどのようなものだとお考えですか？なぜ売れるものと売れないものがあるのでしょうか？「ブランド」は、うちには関係ない、いじりものを作って売らねえ」という時代はとっくに終わりました。現在モノや情報が溢れている中で、消費者は単なるモノを買っているのではなく、「これを買ったらどうなる」という期待感と信頼感（価値）を求めているのです。その信頼を築いた結果を最大限に引き出すものがブランドであり、「経営戦略」なのです。

ですが最近、地方から次々とヒット商品が出ています。これは、自社の経営資源を最大限に活用し、自社のブランド価値を最大化している企業が増えているからです。大企業が行うようなブランド戦略ではなく、中小企業、小規模事業者が取るべき経営戦略としてのブランド戦略をわかりやすく仕組み化し実践を促したセミナーを開催。



昨年対比 利益248%アップ  
【野菜（農産品）】



大手販売店より売場決定  
【パスタ製造業】

成功秘訣「働く意図」  
経営戦略としてのブランド  
中小企業のブランド戦略  
売上を上げ続ける仕組み



新規開業7倍以上の来店数  
【飲食】



専任研修2倍以上実現  
【造園業】

日時  
4月28日(金)18時～

会場  
香美町商工会  
2階会議室  
兵庫県美方郡香美町  
香住区香住107番地

主催 但馬信用金庫 共催 香美町商工会、NPO法人TUKULU 後援 香美町

### セミナーを通じて参加者の収穫内容

地方から売れ続ける為の「しくみ」があります。

単なる努力でなく「なぜ働くのか？」から「これがウチの価値だ」という所までのプロセスをお伝えします。

日時 4月28日(金)18時～

会場 香美町商工会 2階会議室  
兵庫県美方郡香美町香住区香住107番地

問合せ 但馬信用金庫 本店営業部 tel.0796-23-1201  
香美町商工会 tel.0796-36-0123

### 但馬信用金庫

たんしんは、大正13年の創業以来、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。平成25年度から27年度の3か年は長期経営計画「原点回帰 新たな飛躍を目指して」を掲げ、当金庫が更に飛躍することで、地域における企業・住民の方々の豊かな生活を実現することを目指しております。

SASI  
DESIGN

### 株式会社 SASI DESIGN

兵庫県宝塚市を拠点に兵庫県を中心として40社を超える企業や自治体などのブランド戦略に携わる。アイデンティティデザインという独自手法で、デザインだけでなく、中小企業や自治体に本当に必要な「しくみ」としてのブランドづくりを行う。

<http://sasi-d.com>



但馬信用金庫 本店営業部長  
宮垣健生  
兵庫県豊岡市生まれ  
慶應義塾大学経済学部卒  
総務省「地域経済循環創造事業交付金」  
採択件数 2年連続1ホー



株式会社SASI DESIGN 代表取締役  
近藤清人  
兵庫県丹波市生まれ  
中小企業庁 専門家派遣事業 専門家  
兵庫県 / 奈良県 商工会連合会  
専門家派遣事業 専門家  
ひょうご産業活性化センター  
専門家派遣事業 専門家  
大阪産業大学 デザイン工学部 教員



松岡俊樹 代表  
NPO法人TUKULU 理事長  
松岡大悟  
兵庫県香美町香住生まれ  
一級建築施工管理技士  
一級建築塗装技能士  
香美町商工会青年部第6代部長

# 専門家と連携したブランディング支援



強い地元企業をつくる

事業承継で生まれ変わった10の実践

近藤 清人  
株式会社SAGI DESIGN代表

地方創生のキーマンは、  
チャレンジする地元の  
中小企業だ!

中経出版

# 当庫の事業承継支援のポイント



事業承継とは、後継者による超友好的な当該企業の乗っ取りである。

よって、事業承継の主役は、(やる気のある)後継者。

具体的なプロジェクト支援を通じて、後継者との関係を強化し、現経営者とのコミュニケーションも取り持っていく。

当庫が取り組む「地域プロジェクト」では、やる気のあるプレイヤーと具体的な事業を実施していく。

やる気のあるプレイヤーが経営者である場合は、当該企業の本業支援を行なうことになり、やる気のあるプレイヤーが後継者である場合は、当該企業の事業承継支援になる。

# 大切にしている言葉



優先順位の決定には、いくつかの重要な原則がある

第一に、過去ではなく、未来を選ぶ

第二に、問題ではなく、機会に焦点を合わせる

第三に、時流に乗るのではなく、独自性を持つ

第四に、無難で容易なものではなく、変革をもたらすものを選ぶ  
すべて分析ではなく、勇気に関わるものである

(P・F・ドラッカー)

自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ

(株式会社リクルートの旧・社訓)